

100億宣言

奥道後国際観光株式会社（宿泊業・飲食業）



「奥道後 湯の守」外観

- 本社所在地：愛媛県松山市末町乙267-1
- 事業概要：旅館・ホテル・飲食サービス業
- 常時使用する従業員：80名
(2026年7月時点)
- 現在の売上高：13億円
(2026年3月期)
- 法人番号：4500001005191
- Web：https://www.okudogo.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
河上 克之

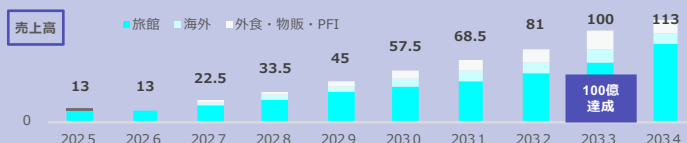
地域で働く人が世界を舞台に成長できる「地域観光会社」へ

奥道後国際観光株式会社は、2012年の民事再生を機に、厳格な係数管理手法と、特定の個人の経験や能力に依存せずスタッフ一人ひとりが成長できるしくみを強みとしています。そして親会社である海栄館のブランドコンセプト「記念日の宿®」の理念と、「記念日コンシェルジュ」によるおもてなしを基盤として運営しています。また、愛媛県がインバウンド政策を推進しており、奥道後 湯の守も多くのお客様を迎えています。こうした地域特性を活かし、従来の旅館を中心とした宿泊事業会社から、新規事業として外食・物販・PPP/PFI・海外事業を組み合わせ、観光消費を地域経済へ還元する「地域観光会社」へと事業領域を広げ地域社会の持続的な発展を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年100億の達成に向け、2033年全25拠点体制となるべく平均年率29.1%程度の成長を目指します。



課題

- 新事業化・新拠点の開発に必要な設備投資
- インバウンド需要の継続的な取り込みと、海外市場への展開
- DX・AIの更なる活用による生産性向上の強化
- マニュアル・マルチタスク・オペレーション改革による効率化
- 事業の成長と賃上げを継続的に実現する収益構造の構築
- 「記念日の宿®」ブランドを国際的な価値への進化
- 自治体・地域企業などとの連携を強化し新事業の拡大

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- DX・AIの導入促進による作業効率の強化・生産性向上
- マニュアル・マルチタスク・オペレーション改革
- 「記念日の宿®」をインバウンドに向け高付加価値化
- 地域DMCの中核を目指した新事業、新拠点の開拓
- 新事業、サービスへの設備投資で新しい価値を創出
- 海外展開による新たな市場開拓
- 旅館・海外・外食・物販・PFIのシナジー最大化

実施体制

- 「100億円宣言戦略部会」の設置
- 同部会にて、重点施策ごとに責任体制を明確化し推進
- 専門家との連携により、法務・税務・労務・海外展開等のリスクマネジメントを効率的に強化
- 定期的な進捗管理とPDCAの改善により、売上100億円達成に向けた施策を継続的に実行

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです